

さはらじょうあといせき・
さはらじょうあと

佐原城跡遺跡・

佐原城跡

(横須賀市No.90・91 遺跡)

調査期間 20070718～20070831

所在地 横須賀市
佐原三丁目地内

時代 弥生
古墳～奈良・平安
中近世以降



更新日:20080912

概要

今回の調査は、東日本高速道路株式会社による、横浜横須賀道路建設(佐原～馬堀海岸間の延伸)事業に伴った事前の調査です。同事業による調査は2001年度から2002年度にかけても行われましたが、今回はその調査区に隣接する200㎡が対象となります。

遺跡は三浦半島最大の河川である平作川や、その支流である矢部川・岩戸川が作り出した低地を望む台地上に立地し、古くから半島一帯を治めていた三浦氏一族の一派であ

さわらじゅうろうよしつら
る佐原十郎義連の居城があった地とされてきました。

前回の調査では、中近世に造られた段切り(斜面地に平坦面や防御施設としての崖面を作り出すための造成痕)が発

見されたほか、弥生時代中頃(宮ノ台期)には、集落が広がっていたことが確認されました。

今回の調査では、弥生時代の遺構は前回発見されていた遺構の続きが確認されたのみとなりました。中近世以降の遺構としては、前回見つかった段切り・溝の延長部が確認されたほか、新たに溝や土坑、畑の跡となる畝状遺構が発見されました。



▲K1号段切り



▲調査区全景

今年度は、発掘調査で得られた出土品の整理作業と報告書作成を行っています。中近世の遺構は、出土遺物の検討から主に近世以降の耕作に関連することが明らかとなりました。本遺跡と城跡の関連性は明らかにできませんでしたが、前回の調査では鎌倉時代の陶器なども少量ながら出土しており、本遺跡における今後の調査事例の増加が期待されます。



▲佐原城碑